

「友達のため行動するとき、生徒たちの目は輝きます」 鎌倉学園 佐藤洋平

シーエスアールスクエアの設立の趣旨（ミッション）に、「日本の児童生徒の現地訪問と交流と先生方の現地視察」、また、「児童生徒による現地の継続支援」があります。その双方を実現してくださっているのが、神奈川県「鎌倉学園」様です。理事長が4年間お手伝いをさせていただいたアジア教育友好協会の頃から、ともに、現地訪問や支援、交流活動に取り組んできた「佐藤洋平先生」から、お言葉をいただくことができました。佐藤先生は、教科は主に、理科を担当されておりますが、科学的なこと以外でも、教わるが多くあります。



タイ族の女の子と佐藤先生

2015年10月、鎌倉学園では新たな海外研修旅行として「ベトナム研修」の準備を進めていました。一般的な観光旅行ではなく、体験学習の場として鎌倉学園独自の旅行とするため、アジア教育友好協会と一緒にプログラム作成をしていました。このときに担当してくださったのがシーエスアールスクエア理事長の宍戸さんです。これ以降、鎌倉学園は常に宍戸さんの伴走のもとベトナム研修を実施してきました。ベトナム南部のチャ・ビンや中部タム・キーを主な活動場所として、校舎補修作業や植樹、ゴミ分別のプレゼン、折り紙を使った文化交流、互いの授業体験、日本式運動会など、参加生徒のアイデアを形にしてきました。交流相手は小学生や中学生、幼稚園児や日本語学校の学生などです。ベトナム研修では、旅行全般に関わることはもちろんですが、運動会当日、現地の人々による昼食作りやテレビ局の取材対応、重量45kgの大綱運搬の手配など、特殊なことにもすべて宍戸さんにサポートして

頂いてます。不測の事態が連続し、失敗と成功を繰り返しながら続けてきたベトナム研修ですが、生徒たちの変化を実感しています。生徒達は交流をすることで「ベトナムの子供」から「ベトナムの友達」と捉えるようになり、帰国後は「友達」のためにできることはないか、と行動するようになりました。この小さな変化が時間をかけて形になり、2018年にホアン・ヴァン・トゥ小学校へ新しい校舎をプレゼントすることができました。鎌倉学生は新校舎の地鎮祭や開校式にも参加させてもらい、その後も交流を続けています。

こうした活動を続ける中、教員も動きました。中部タム・キーに近いアン・タイ幼稚園では、園児の人数が急激に増え保育もままならない状態であることを知った同じ職場の先輩教員は校舎の増設と調理室をプレゼントしました。また、ベトナム研修でお世話になっている学校をサポートするために教員チームが個人旅行で現地を訪問しています。

ベトナム研修とは別に、宍戸さんと関わりがある人々が集まり2015年ベトナム南部チャ・ビンへ、2019年北部ラン・ビンを訪問する機会を頂きこれに参加しました。属性の異なる人達と行動をともし、現地の小学生と交流したり、学校長や先生方、郡長や役場の方々と意見交換することで、新たな気づきをたくさん得ることができました。また、ツアーでは通訳担当としてベトナムの大学生なども帯同しましたが、学生達とのちょっとした会話からも多くの事を学ぶことができました。これらのツアー参加者、関係者とは今でも繋がりを持たせてもらっています。



18人の先生方などで、運動会や交流のあとラン・ビン郡の大きな湖も船で堪能

ベトナムを訪問することで人と繋がり、友達のためにできることをし、友達に会いにベトナムへ行く。鎌倉学園ではシーエスアールスクエアのサポートで、このような良い循環が生まれ、生徒だけでなく教員も貴重な経験をさせて頂いています。特に友達のために自分ができることを考え行動しているとき、生徒たちの目は輝いて見えます。学校を輝く学びの場に。これからは宍戸さんの伴走のもと、ベトナム研修をより進化させ、学校を輝く学びの場にしていきたいと思っています。

鎌倉学園は今年創立100周年を迎え、本来であれば交流校とより深い絆を結ぶ良い機会でしたが、COVID-19の影響でベトナム研修は実施できていません。このような状況ですが、生徒達は友達のためにいま自分たちにできることを精一杯続けています。



ミニ運動会の「綱引き」で、はじける現地の子供達

# コロナ禍でも、教育施設設備整備支援事業を継続

昨年2月のベトナム北部訪問以来、フライトが無く、現地を訪問することができないでおります。そうした中でも、教育環境に恵まれない東南アジアの状況は、コロナ禍により、海外からの支援が滞っているため、変わりはありません。それでも、これまでの数年間の活動の結果、現地行政との関係や、現地ボランティアスタッフの活躍で学校施設設備の改善のための支援は、継続しています。そのいくつかを紹介させていただきます。

## 飲料水用井戸支援(その1) クアン・ナム省、ティエン・フック村

何度か、ベトナム中部の学校を訪問し、運動会や文化交流などをしてきた神奈川県鎌倉学園の中高校の現地訪問は、コロナウィルス蔓延防止のためにフライトがなく、実施できていません。

生徒さん達の募金やバザーの益金などを預かっておりましたが、それらのお金で、ベトナム中部の中学校と幼稚園へ飲料水を確保するための井戸を寄贈することができました。

ティエン・アン幼稚園 (写真右上)

グエン・チャイ中学校 (写真右中)



## 飲料水用井戸支援(その2) クアン・ナム省、ティエン・フック村

一昨年、大阪和泉市の講演会でお目にかかり、すぐに、井戸支援を申し出ていただいた建設会社「E. G. LIFE」の竹下豪一郎様。一昨年の暮れに着手した井戸支援でしたが、昨年の中部を襲った20年ぶりの台風被害やコロナ蔓延のため、報告が遅れておりました。5月に、現地の中学校より、校長先生と生徒代表の感謝のメッセージと動画が届きました。そのメッセージの中には、中学生の学校生活にとって、安全で安心して飲むことのできる水の有り難さが表現されておりました。レ・ディン・チン中学校(写真右下)



## 学習活動用大型テレビの寄贈 トゥエン・カン省、ラン・ビン郡

昨年度まで、ベトナム中部の学校などに飲料水確保のための井戸を支援してくださっていた、東京のタレント「時東あみさん」ですが、今年度は、ベトナム北部、Tuyen Quang省、Lam Binh郡の小中学校3校に、大型テレビ3台を寄贈してくださいました。

例年であれば、現地で購入して持参して届けるのですが、今回は、現地行政にお金を送り、準備してもらいました。現地行政では、少しお金を追加して、「ソニー製(Sony)」のテレビにしてくれました。



ビン・アン中学校(左)、フック・イエン中学校(中)、フック・イエン小学校(右)

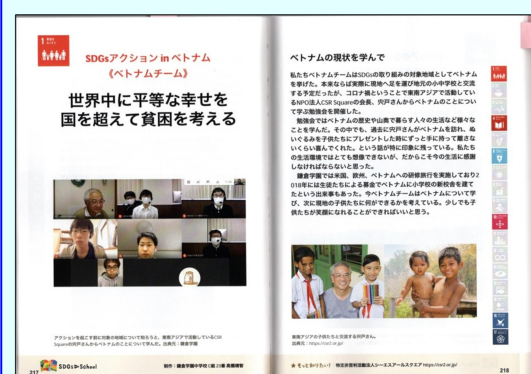
# 出前授業・講演会の実績（コロナ禍の中で）

会報6号でもお知らせしたように、今年度の出前授業・講演会は、今回のコロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度の2月末から3月実施予定であった学校も含めて、全てキャンセルとなりました。その中には、広島県の福山大学の1500人対象の講演会があったり、栃木県那須町の教職員研修会の講演会など、大きな講演会が含まれていました。その後、改めて申込みはあったものの、年間での実績は、全部で17回のみとなってしまいました。例年の50回から60回ほどの3分の1という実態です。聴講者は、児童生徒が1567人、教師・大人が211人でした。

中には、インターネットの会議アプリである「Zoom」や「Google-meet」を使っの講演や学習会が5回ほど含まれています。WEBでの会議等には、この二つのアプリ以外にも、「Skype」「Bluejeans」「Microsoft-teams」での会議などもあり、WEB会議アプリの利用法に慣れることが必要な1年間でした。



2021. 1. 17 講演録画の様子



そうした中で、次年度は、「講演会の記録動画を見せていただきたい。」との要望も寄せられ、緊急事態宣言発令中ではありましたが、No.15の東京都新宿での1月17日(日)の講演を、大阪のフリーの映画監督さんに録画していただき、3台のカメラやマイクをフル活用いただき、記録映像を作成していただくことができました。

また、鎌倉学園の生徒さん対象のWEBでの学習会のNo.8とNo.13の結果は、350頁もの記録本「SDGs」の「ACTION BOOK 2021」としてまとめられ、その報告書の中で、左の写真のように8ページにもわたって紹介いただきました。嬉しい成果です。

No.	月 日	曜日	時刻	学 校 名 等	学年	生徒数	教科等	参観者
1	7月21日	火	18:30	大阪市、アース・フレンドシップ・フェスティバル勉強会			講演会	2
2	9月10日	木	11:00	東京都目黒区立東根小学校	小6	94	総合	5
3	9月18日	金	15:00	愛知県私立幼稚園連盟環境教育特別委員会講演会 (Zoom)			講演会	20
4	9月24日	木	12:50	福島県立福島南高等学校国際理解セミナー	全	511	講演会	30
5	9月25日	金	13:35	東京都町田市立南大谷小学校	小6	115	講演会	6
6	11月7日	土	9:20	東京都江戸川区立鹿骨東小学校	小6	84	講演会	9
7	11月9日	月	10:20	福島市立杉妻小学校	小6	109	講演会	8
8	11月26日	木	15:00	神奈川県鎌倉学園ベトナム学習会 (Google-meet)	中3	6	学習会	2
9	11月28日	土	9:45	福島市立吾妻中学校	全	219	講演会	20
10	12月8日	火	13:35	いわき市立植田東中学校	中2	64	講演会	10
11	12月13日	日	15:00	大阪府・ベトナム未来種まきプロジェクト (Zoom)			講演会	24
12	12月15日	火	13:30	いわき市立平第三小学校	小6	78	講演会	6
13	12月19日	土	10:30	神奈川県鎌倉学園ベトナム学習会 (Google-meet)	中3	6	学習会	1
14	1月16日	土	9:10	東京都板橋区立志村第二中学校	中1	142	講演会	8
15	1月17日	日	16:00	寺田猛・チャリティ講演会：「新型コロナ被害」に直面する日本やミャンマーの子どもたち支援 (東京都新宿)			講演会	16
16	2月21日	日	10:00	東京都品川区立台場小学校 (Zoom)	小・中全	70	講演会	35
17	2月25日	木	10:30	国見町立国見小学校	小6	69	講演会	9

合計 1567 211

## 【ラジオ番組「お母さん教室～話の広場～」】

2月2日・9日・16日、ラジオ福島での放送

2017年9月にスタートした理事長・宍戸のラジオ福島での番組放送も、4年間で計24回となりました。

今年2月のテーマは、「出前授業・講演会に寄せられた、福島県内の小中高生からのメッセージ」が中心です。これらのメッセージから、出前授業や講演会を聞き、多くのエピソードを子供達がどのように受け止めているかが、よく分かるものとなっています。特に、3回目の理事長と、ある高校生との再会、さらに、その高校生からのメッセージには、夢があります。

この24回の放送を、「ホームページにも掲載できないのか」というお問い合わせをいただくことが多いため、著作権の関係から、この原稿を改訂して、関連の映像などとともに、動画として制作し、Youtubeへアップし、ホームページ上にリンクをはることを今年度計画しています。



## 2020年10月～2021年3月の正会員、特別寄付者名（敬称略）

### ◆正会員◆

宮城県	菊田 榮四郎	福岡県	松本 牧子
栃木県	田崎 真	福島県	井上 成美
東京都	伊勢 英子	(50音順)	井上 美幸
同	徳永 真	同	上野 富男
同	南雲 利明	同	小平 一夫
同	平沼 京子	同	片野 宗和
同	真鍋 秀則	同	齋藤 精次
同	柳 裕之	同	高橋 智里
神奈川県	小林みゆき	同	齋藤千賀子
同	中山 敏夫	同	齋藤 ミネ
大阪府	野口 貴裕	同	富山 幸子
福岡県	坂本 武典	同	匿名希望1名

### ◆特別寄付◆

宮城県	境 香	大阪府	尾崎 杏奈
同	佐藤美奈子	島根県	高瀬 正博
栃木県	柳 文男	福島県	井上 朱音
神奈川県	冠木友紀子	(50音順)	菅野八百子
同	小野 愛里	同	木村 謙一
同	川原齒科医院	同	常 泉 寺
同	田中 正幸	同	野村 桂子
東京都	伊勢 英子	同	西坂 勲
同	置鮎早智枝	同	ハヤシ製作所
同	江戸川区立	同	古内 利勝
鹿骨東小学校児童会		同	松本 市郎
大阪府	芦田 衛	同	匿名希望2名

## ◆ CSR2往来 2020.10～2021.3 ◆

- 10月 ● 会報6号発行 (6日)
- JICA東北、Lam Binh Project WEB会議 (15日)
- Earth Friendship Festival 打合せ (東京・神田) (20日)
- 11月 ● 会報6号、HP-Upload (10日)
- JICA東北WEB会議 (10日)
- ベトナム中部洪水被害支援 (24日)
- 12月 ● PACCOM-Annual Report作成・送付 (4日)
- EFF、WEB会議 (9日)
- CSR-Square プロモーション動画撮影訪問 (矢祭町・伊達市・福島市・南相馬市・三春町) (21日～24日)

- 1月 ● 福島市緊急支援給付金申請 (25日)
- 2月 ● 理事長「ラジオ福島」出演 (2,9,16日)
- 飯館村訪問、村長・教育長面談 (15日)
- NPO関連予算公開ヒヤリング(Zoom) (17日)
- JICA東北、事業推進会議(Skype) (18日)
- プロモーション動画撮影訪問 (矢祭町・いわき市・飯館村・国見町・郡山市) (20日～27日)
- 3月 ● 講演会DVD制作、複製、送付 (4日)
- 外務省NGO連携研究会(Zoom) (5日)
- 大阪府、京都府、福山大学訪問・学長面談、FM-HANAKO収録 (10日～15日)
- 緊急事態宣言影響緩和 一時支援金給付申請 (28日)

## NPO法人 シーエスアールスクエア (CSR<sup>2</sup>) (輝く学校広場) Challenge for School Revival & Corporate Social Responsibility

〒960-8136 福島県福島市八島町6-29 TEL 090-2604-4226 FAX 024-533-2612

(ホームページ) <https://csr2.or.jp/> (facebook) <https://www.facebook.com/Kagayakugakkou>

E-mail: [shishido.csr2@gmail.com](mailto:shishido.csr2@gmail.com)